

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : **01-216486**

(43)Date of publication of application : **30.08.1989**

(51)Int.Cl.

G06F 15/64

G06F 15/62

G06F 15/64

(21)Application number : **63-041084**

(71)Applicant : **MITSUBISHI ELECTRIC CORP**

(22)Date of filing : **24.02.1988**

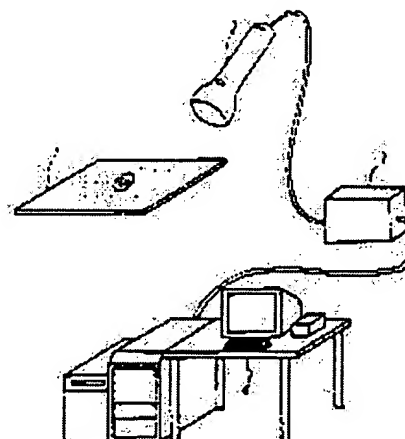
(72)Inventor : **MIYAKE NORIYUKI**

(54) SLIP READING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To attain correct and prompt reading even when the format of a slip is of various type by respectively reading a seal or a signature and a slip order one by one with a handy-type picture reader.

CONSTITUTION: A picture reading/input device 2, which is connected to a main body 4, reads the picture data such as an imprint, and inputs them to the main body 4, respectively reads the seal, the signature and the slip order one by one in the reading range of a slip 1. Thus, since the seal or the signature and the slip order are respectively read one by one, in a financial institution, a public office, etc., when the huge amount of the slips are read, even when the formats of the slips are of the various types, the device 2 can read them, setting of the slip to the reading position in a conventionally way is made unnecessary, and the correct and prompt reading is attained.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑫ 公開特許公報(A)

平1-216486

⑤ Int. Cl.⁴G 06 F 15/64
15/62
15/64

識別記号

3 4 0
4 5 5
3 3 0

庁内整理番号

Z-8419-5B
6615-5B
8419-5B

⑬ 公開 平成1年(1989)8月30日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

⑭ 発明の名称 伝票読取方式

⑯ 特 願 昭63-41084

⑰ 出 願 昭63(1988)2月24日

⑱ 発 明 者 三 宅 則 行 兵庫県神戸市兵庫区和田崎町1丁目1番2号 三菱電機株式会社制御製作所内

⑲ 出 願 人 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

⑳ 代 理 人 弁理士 大岩 増雄 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

伝票読取方式

2. 特許請求の範囲

印鑑あるいはサイン及び伝票オーダと、読取範囲が前記印鑑あるいはサイン及び伝票オーダをそれぞれ単独に読み取る範囲であるハンディ型画像読取装置によつて、それぞれ単独に読み取ることを特徴とする伝票読取方式。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は、自治体や金融機関等で使用される伝票を画像読取り入力装置で読取る伝票読取方式に関するものである。

〔従来の技術〕

従来、印鑑のみを読取る印鑑照合機として、例えば特開昭 61-246883 号公報に示されたものがあり、第5図はこの装置を備えた印鑑照合機のシステム外觀図である。この図において、(1)は登録されたデータを処理し、接続された周辺装置を制御

する印鑑照合機制御部本体、(2)は本体(1)に接続され、登録されたデータを蓄積するための外部記憶装置、(3)は本体(1)と接続され、印鑑照合機の動作状態や指示を表示するための CRT ディスプレイ、(4)は本体(1)と接続され、本体(1)へ指示を与えるための専用キーボード、(5)は本体(1)と接続され、画像データを読取り、本体(1)へ入力する画像読取り入力装置、(6)は読取り登録するための伝票、(7)は画像読取り入力装置(5)の読取り台、(8)は読取りの際、登録用の伝票(6)を読取り台(7)上に固定するための押え板、(9)は読取り口となる窓穴である。

次に動作について説明する。印影等の画像データを印鑑照合機に登録するには、登録用の伝票(6)を、据え置き型画像読取り入力装置(5)の読取り台(7)の上に置き、伝票(6)の画像を読取らせる。読取られた画像データは印鑑照合機本体(1)へ伝送され、外部記憶装置(2)へ蓄積される。

登録者は、登録用の伝票(6)を、据え置き型画像読取り入力装置(5)の読取り台(7)上に置き、伝票(6)を押え板(8)で、読取り部分が完全に窓穴(9)から見

えるように固定し、CRTディスプレイ(3)で表示される指示に従って、専用キーボード(4)を操作することによつて、読取り装置(5)による読取りを開始させ登録を行う。

〔発明が解決しようとする課題〕

従来の据え置き型の読取り入力装置を備えた印鑑照合機は、金融機関、役所、その他で広く用途があるが、以上のような構成となつており、印影等の画像データを登録するために、登録者は登録用伝票を、画像読取り入力装置の据え置き台上の決められた位置へ固定しなければならない。また、この場合、伝票の押印位置や記入位置がずれていたり、方向が曲つている、あるいは伝票の記入フォーマットが異なつていて同じ金融機関でも異なつており、ましてや役所その他となれば更に異なつてくるので、読取り装置に合わなくなると、正確な登録が不可能になり、読取り部分に合うよう、読取り部分を何らかの操作によつて変えるか、同一フォーマットの伝票にそろえる（現実には用途が広い故、不可能）などの変更が必要になるなど

の課題があつた。ましてや印鑑のみでなく、口座番号、顧客番号、個人識別番号、ID番号（以下これらを伝票オーダと記す）をも読取り取ろうとした場合には、前記課題は益々大きな課題となる。

この発明は上記のような課題を解決するためになされたもので、印鑑やサインのみでなく伝票オーダをも読取り取れ、登録の行なえる場所を固定せずに、比較的自由的な場所で読取り入力ができ、伝票の読取り位置や方向のずれ、あるいはフォーマットの違いに対しても、正確、迅速な登録ができる伝票読取方式を得ることを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

この発明に係る伝票読取方式は印鑑あるいはサイン及び伝票オーダを読取範囲が印鑑あるいはサイン及び伝票オーダをそれぞれ単独に読取り取る範囲であるハンディ型画像読取装置で、それぞれ単独に読取り取るものである。

〔作用〕

この発明の伝票読取方式は、印鑑あるいはサイン及び伝票オーダを、ハンディ型画像読取装置に

よつて、それぞれ単独に読取り取るので、金融機関、役所、その他において多用される伝票の読取りにおいて、伝票のフォーマットが各種各様であつても読取りが行なえ、しかも伝票の読取り位置への設定も不要となり、正確、迅速な読取りができる。

〔発明の実施例〕

以下、この発明の一実施例を図について説明する。第1図はこの発明の一実施例のシステム外観図であり、図において、(1)は登録されたデータを処理し、接続された周辺装置を制御する印鑑照合機等の伝票読取機制御部本体、(2)は本体(1)と接続され、登録されたデータを蓄積するための外部記憶装置、(3)は本体(1)と接続され、印鑑照合機等の伝票読取機の動作状態や指示を表示するためのCRTディスプレイ、(4)は本体(1)と接続され、本体(1)へ指示を与えるための専用キーボード、(5)は本体(1)と接続され、印影等の画像データを読取り、本体(1)へ入力する画像読取り入力装置で、読取範囲が伝票における印鑑、サイン、伝票オーダをそ

れぞれ単独に読取る範囲となつている。(6)は登録するためにそのオーダ（図示のNo.12345）、印等の伝票読取対象物(6A)が読取られる伝票である。第2図はこの発明の一実施例における画像読取り入力装置(5)の外観図、第3図はその使い方の説明図である。図において、(7)は読取りを開始するための押しボタンスイッチ、(8)は読取り待ちの状態を表示するためのLED、(9)は読取り作動中を表示するためのLEDである。第4図はこの発明の一実施例における画像読取り装置(5)と印鑑照合機制御部本体(1)のハードウェア内部ブロック図である。図において、(10)は画像を読取つて、データとして信号に変換する画像読取り（カメラ）部、(11)は本読取り入力装置(5)の動作を制御する制御部、(12)は読取りを開始する時に登録者が押す押しボタンスイッチ部、(13)は本読取り入力装置(5)の動作状態を表示するための表示部、(14)は本読取り入力装置(5)と伝票読取機本体(1)との接続のための信号インタフェース部、(15)は伝票読取機本体(1)と、読取り入力装置(5)との接続のためのインタフェース部、(16)

は本体(1)の動作を制御する制御部、(7)は本体(1)とCRTディスプレイ(3)、専用キーボード(4)とを接続するためのマン・マシンインタフェース部、(8)は本体(1)と外部記憶装置(2)とを接続するためのインタフェース部である。

次に動作について説明する。印影等を印鑑照合機等の伝票読取機に登録するには伝票読取機制御部本体(1)に接続された画像読取り入力装置(5)によつて、登録用伝票(6)から登録画像を読取り、読取られた画像データは、伝票読取機制御部本体(1)へ伝送され、外部記憶装置(2)へ蓄積される。

登録者は、登録用の伝票(6)を平面なところに置き、第3図に示すように、画像読取り入力装置(5)の先端部で被読取り部分のところを完全に覆うようにして密着させ、印鑑あるいはサイン、伝票オーダを単独に読取るような位置とし、読取り開始用押ボタンスイッチ(7)を押すことで読取りを開始させ、登録を行なう。

例えば、伝票(6)に押印された印影を登録する場合、登録者はまずCRTディスプレイ(3)に表示され

る指示に従つて、専用キーボード(4)を操作し、印鑑照合機の動作を読取り開始待ち状態にする。この時点で画像読取り入力装置(5)の読取り待ち状態表示用LED(8)が点灯する。そして、伝票(6)を平面なところに置き、読取り入力装置(5)の先端部で読取り部分のところに密着して固定させ、読取り待ち状態表示用LED(8)が点灯しているのを確認したら、読取り開始用押ボタンスイッチ(7)を押す。その時点で読取り待ち状態表示用LED(8)が消え、読取り作動中表示用LED(9)が点灯する。この読取り作動中の間、読取り入力装置(5)と伝票(6)は固定させておく。読取りが終了すると、読取られた画像データは、伝票読取機制御部本体(1)から、外部記憶装置(2)へ蓄積される。その後、読取り作動中の表示用LED(9)が消灯して登録が完了する。

印鑑照合機等の伝票読取機の動作がキーボード(4)の操作によつて登録読取り待ち状態になつたら本体(1)は画像読取り入力装置(5)に対して、画像読取り入力装置インタフェース部(10)、信号インタフェース部(11)を通して信号を送信する。それを読取

り入力装置の制御部(11)が判断し、表示部(12)にて、読取り開始待ち状態表示用LED(8)を点灯させる。この状態にてスイッチ部(13)で、開始スイッチ(7)が押されると制御部(11)の判断によつて、画像読取り(カメラ)部(14)を動作させる。このカメラ部(14)にあるイメージセンサによつて得られた画像データに、信号インタフェース部(11)を通じ、本体(1)の外部記憶装置インタフェース部(11)を介して外部記憶装置(2)へ伝送される。こうして、画像読取り入力装置(5)による画像データの登録が可能になる。

なお、上記実施例では、ハンディ型画像読取り入力装置の読取り開始待ち状態と読取り作動中の状態表示にLEDを用いたが、代わりに液晶表示窓を設けたり、ブザー音の発生機能を設けて状態を換わすようにしても同様である。また、マン・マシンインタフェースとして本読取り入力装置に10キーなどの入力キーなどを設ければ、上記例のように、印鑑照合機の動作を本体側のキーボード操作で読取り開始待ち状態に設定する他に、読取り入力装置側から設定する方法も可能になる。この

場合には、印鑑照合機本体1台に対して複数のハンディ型読取り入力装置を接続できる。また、画像読取り入力装置(5)は、印鑑あるいはサイン、伝票オーダのそれぞれを単独に読取るために、同装置(5)の先端部で被読取り部分のところを完全に覆うようにしたもの为例示したが、完全に覆うようなことをしなくても、例えば焦点があつた場合のみ読取るようにすると共に焦点が合う範囲を上記単独に読取る範囲とするようにしてもよく、また同装置(5)の読取窓から被読取り部までの距離が常に一定なるような付属品を該読取り窓近傍に取付ける等、各種手段があり、この発明は前記実施に限られるものではない。

〔発明の効果〕

以上のようにこの発明は、印鑑あるいはサイン及び伝票オーダを、ハンディ型画像読取装置によつて、それぞれ単独に読取る方式としたので、金融機関、役所、その他において多用される伝票の読取りにおいて、伝票のフォーマットが各種各様であつても読取りが行なえ、しかも、従来のよう

な伝票の読取り位置への設定も不要となり、正確迅速な読取りができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の一実施例を示す外観図、第2図は第1図における画像読取り入力装置を拡大して示す外観図、第3図は第1図における画像読取り入力装置の使用の仕方を説明するための斜視図、第4図は第1図のハードウェア内部ブロック図、第5図は従来の画像読取り入力装置を備えた印鑑照合機のシステム外観図である。

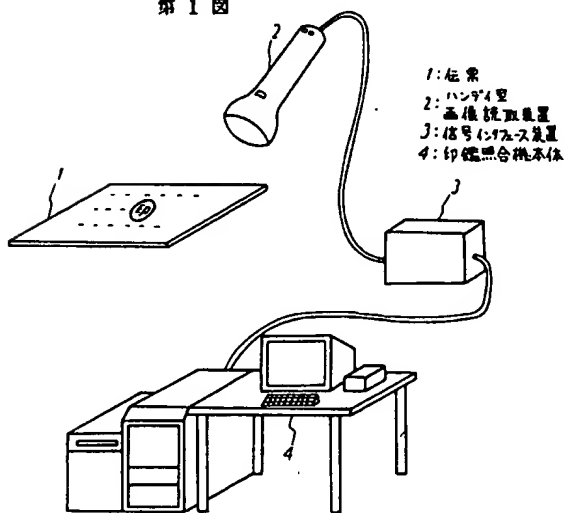
図において、(1)は印鑑照合機制御部本体、(2)は外部記憶装置、(3)はCRTディスプレイ、(4)は専用キーボード、(5)は画像読取り入力装置、(6)は登録用の伝票、(7)は押ボタンスイッチ、(8)は読取り待ち状態表示用LED、(9)は読取り作動中表示用LED、(10)は画像読取り(カメラ)部、(11)は制御部、(12)はスイッチ部、(13)は表示部、(14)は信号インタフェース部、(15)は画像読取り入力装置インタフェース部、(16)は本体制御部、(17)はマン・マシンインタフェース部、(18)は外部記憶装置インタフェース部、(19)は

据え置き型画像読取り入力装置の読取り台、(20)は押え板、(21)は窓穴である。

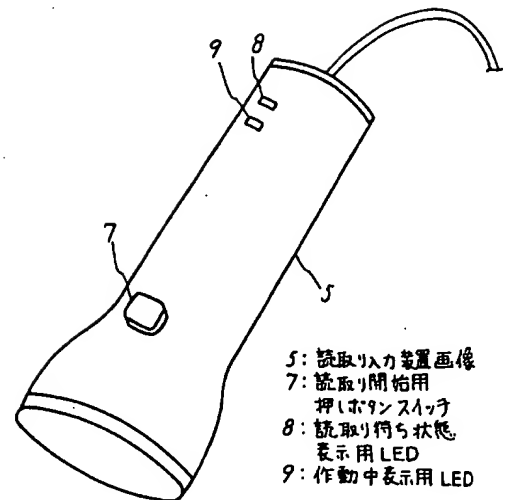
なお、図中、同一符号は同一、又は相当部分を示す。

代理人 大 岩 増 雄

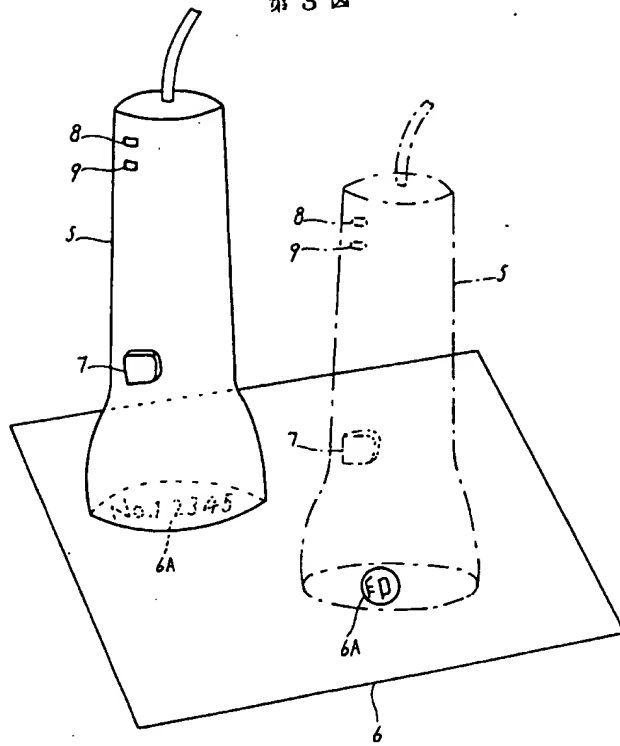
第1図



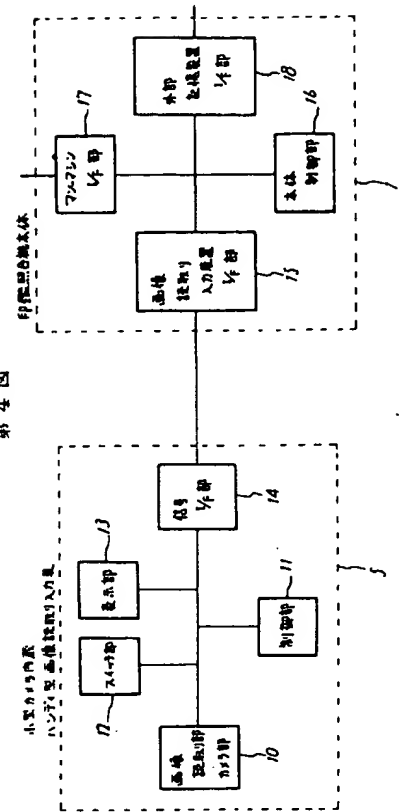
第2図



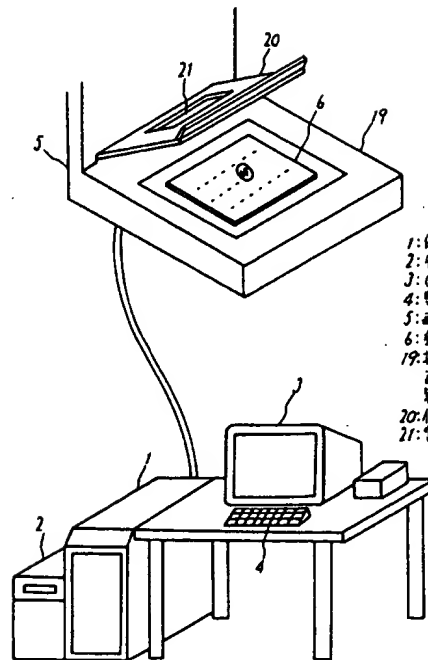
第3図



第4図



第5図



- 1: 印鑑照合機制御部本体
- 2: 外部記憶装置
- 3: CRTディスプレイ
- 4: 専用キーボード
- 5: 画像読取入力装置
- 6: 登録用圧票
- 10: 読取位置
- 11: 画像読取入力装置読取口
- 20: 圧票押え板
- 21: 読取口